

## 我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立仰木小学校

## ○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 【結果について】

## 《概要》

## &lt;学力調査結果から&gt;

- ・国語A、国語B、算数A、算数Bとも正答率は全国平均と比較してみると良い傾向にあります。
- ・算数Bの「図形」の領域では、他の領域に比べるとやや低い正答率となりました。

## &lt;学習状況調査結果から&gt;

- ・児童の生活習慣は、規則正しいものとなっています。
- ・教科に関する関心は、国語が高い傾向にあります。
- ・学習習慣に課題が見られます。

## 《強み・弱み》

## &lt;強み&gt;

- ・記述問題では、無回答がほとんどありませんでした。ノート指導を重視してきた結果、思いや考えを記述する力が定着してきています。
- ・言語活動、読解力が高い傾向にあります。読書指導に力を入れてきた成果が見られます。

## &lt;弱み&gt;

- ・児童の主体的な学習への取り組みに弱さが見られます。与えられた課題にはしっかりと取り組めていますが、自らすすんで学習する習慣を定着させていく必要があります。

## 【指導の充実に向けて】

## &lt;基礎的基本的な知識・技能の定着に向けて&gt;

- ・「聞く、話す」の学習規律の指導の徹底を図ります。
- ・朝の帯時間に朝読書、朝学習を実施し、全学年で「確かな学力」の定着を図ります。
- ・算数の「図形」の指導では、日常生活の事象を図形の約束や性質と関連づけて考えたり、具体物を用いた活動を取り入れたりしながら個に応じた指導の充実を行います。

## &lt;思考力・判断力・表現力の育成に向けて&gt;

- ・「考え・思いの見える」ノート指導を継続し、言語活動の充実を図ります。
- ・学び合いの授業形態を取り入れ、自己解決⇒グループ学習⇒一斉学習の流れで意見交流できるよう授業改善に努めます。

## &lt;家庭と連携した主体的な学習態度の育成に向けて&gt;

- ・「家庭学習の手引き」に基づき学習環境を整え、調べ学習や学習のまとめ等の課題を与え、児童自らが家庭学習をすすめる習慣がつくよう指導します。